

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的に学習に取り組み、自分の考えを表現できる授業の実践
- 伝え合い、認め合い、学び合う授業の実践

橋小学校  
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長 谷口 睦子	教頭 塩田 史彦
桑村 美香		教務主任 山本 栄	
		研修主任・特別支援教育コーディネーター	桑村 美香

校長

谷口 睦子

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている児童が多い。  ●語彙が少なく、文法に関する知識、文章を読み取る力や要点をまとめて書く力に課題がある。	・進んで学習に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。  ・身に付けた知識・技能を他の学習の場面で活用することができる。	・児童が興味を持ち、楽しみながら取り組むことができるように、タブレット等のICT機器を効果的に使う。 ・視写・読書・新聞を読む活動を朝の活動に位置づけ、いろいろな文に接する機会を増やす。 ・読書や体験活動後に感想や自分の考えを書く活動を取り入れる。			

【各校の取組状況の把握について】

研究授業や研究会の実施、教員自身の振り返りカード等で取組状況の把握を行う。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○教師や友達の意見をしっかりと聞くことができる児童が多い。  ●自分の考えをまとめたり、文章に表現したりすることを苦手としている	・様々な場面で、自分の考えを進んで話したり書いたりできる。  ・考えを伝え合う活動を通し、自分の考えや全体の考えを発展させ、表現することができる。	・授業の中でホワイトボードやタブレットを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。 ・いろいろな表現方法を知らせ、相手意識をもって表現する経験をさせる。 ・うなずいて聴く、友達の発言を受けて考えを言うなど学び合いにつながるモデルを提示したり、できている児童を称賛したりする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して、素直に取り組むことができる。  ●学習に対する取り組みが受動的であり、自分のめあて(目標)を見つけたり、自己決定したりすることに課題がある。	・授業に主体的に取り組み、自分なりの充実感や達成感を味わっている。  ・自分の目標をもって家庭学習や家庭読書に進んで取り組んでいる。	・学習のめあてと振り返りを授業の中に位置づける。振り返りの場を工夫して児童の成功体験につなげる。  ・家庭読書や自主勉強の成果が見てわかるよう工夫する。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

